

巻末資料 一 用語の説明、算出方法

項目		用語の説明
説明① (P.3)	国保、後期被保険者 平均年齢	国保、後期被保険者の年齢の合算値÷国保、後期被保険者数
	高齢化率	65歳以上の人口割合
	産業構成	1次産業（農林漁業等）・2次産業（鉱業、建築、製造業等） 3次産業（サービス業等）
説明② (P.7)	標準化死亡比（SMR）	全国を基準（= 100）とした場合に、その地域での年齢を調整したうえでの死亡率（死亡しやすさ）がどの程度高い（低い）のかを示す。 SMR=120ならば、全国に比べて死亡しやすさは1.2倍高い。 SMR=80ならば、全国に比べて死亡しやすさは0.8倍である。（つまり低い）
説明③ (P.13)	ジェネリック医薬品 数量シェア	後発医薬品（ジェネリック医薬品）は、先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安くなっているため、患者負担の軽減や医療保険財政の改善を目的とし、後発医薬品を普及させる取組みが勧められている。 [数量シェア]=[後発医薬品の数量] ÷([後発医薬品のある先発医薬品の数量]+[後発医薬品の数量])
説明④ (P.15)	1人当たり医療費	被保険者1人当たりの医療費を算出している。（当該疾病に罹患した患者が当該治療のために要した医療費（患者1人当たり）を示しているものではない） 医療費÷被保険者数
説明⑤ (P.21)	疾病分類別医療費 （最大医療資源）	本データ集で主に使用しているKDBシステムの疾病分類は、医科と調剤レセプトを突合し、診療行為、特定器材、調剤費等の合計点数が最も高い病名を使用し、疾病分類を行っている。 【参考】疾病大分類に対する主な疾病中分類は表外参照
説明⑥ (P.49)	特定健診実施率	特定健康診査受診者数÷特定健康診査対象者数
説明⑦ (P.53)	特定保健指導実施率	特定保健指導の終了者÷特定保健指導の対象者数
	特定保健指導の利用率	特定保健指導の利用者÷特定保健指導の対象者数
	特定保健指導の支援完了率	特定保健指導の終了者数÷特定保健指導の利用者数
説明⑧ (p.58)	メタボリックシンドローム 該当者・予備群	腹囲が男85cm以上、女90cm以上で、①～③のリスクが2つ以上該当する者を該当者、1つ該当する者を予備群とする。 ①空腹時血糖が110mg/dl以上 （空腹時血糖値が存在しない場合、HbA1c6.0以上） （平成30年度以降は、空腹時血糖値およびHbA1cが存在しない場合、 随時血糖が110mg/dl以上） または糖尿病の服薬あり ②脂質が中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満 または脂質異常症の服薬あり ③血圧が収縮期130mmHg以上または拡張期85mmHg以上 または高血圧症の服薬あり

項目		用語の説明
説明⑨ (P.62)	標準化比	標準化比が100よりも大きいと、比較先（全国）よりも医療費（または有所見者割合、有病状況など）が高いことを示す。 標準化比の計算例 = (自市町村の1人当たり医療費) ÷(県が自市町村の性・年齢構成と同じ場合の1人当たり医療費)
	有意な差 (p<0.05)	比較先（全国）との差が、偶然によるものか、有意な差（有意差）があるかを判断する。 一般的にはp値（有意確率）が0.05未満の場合、同じ結果が偶然に発生する確率は低いと考え、統計学的に有意な差（有意差）があるものとみなす。
説明⑩ (P.64)	服薬者	特定健康診査質問票の「現在、薬の使用の有無（医師の診断・治療のもとで服薬中の者を指す）」について、それぞれ①～③の質問に「はい」と回答した者。 ①血圧「血圧を下げる薬」 ②脂質「コレステロール（中性脂肪も同様に取扱う）を下げる薬」 ③血糖「インスリン注射又は血糖を下げる薬」
説明⑪ (P.69)	〇〇モティブシンドローム要因疾患の有病率	国保・後期被保険者の新規要介護認定者のうち、認定月を含む過去6ヶ月に〇〇モティブシンドローム要因疾患を有しているかをレセプトから判断して算出する。 有病率 = 有病者数(認定日以前に要因疾患のレセプト有) ÷ 新規要介護認定者数
説明⑫ (P.74)	性・年齢調整	生活習慣病をはじめとする各疾病は、性別や年齢の違いから大きな影響を受ける。そのため、自市町村と県平均値などを比較するときに、県が自市町村と同じ性別・年齢構成だった場合に期待される医療費を踏まえた計算をすることを言う。

【参考】疾病病大分類に対する主な疾病中分類

疾病大分類	主な疾病中分類
1 感染症及び寄生虫症	結核、ウイルス性肝炎 等
2 新生物<腫瘍>	気管、気管支及び肺の悪性新生物、乳房の悪性新生物、その他の悪性新生物 等
3 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	貧血 等
4 内分泌、栄養及び代謝疾患	糖尿病、脂質異常症、その他の内分泌、栄養及び代謝障害 等
5 精神及び行動の障害	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害、気分（感情）障害（躁うつ病を含む） 等
6 神経系の疾患	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群、その他の神経系の疾患 等
7 眼及び付属器の疾患	結膜炎、白内障、その他の眼及び付属器の疾患 等
8 耳及び乳様突起の疾患	外耳炎、中耳炎、メニエール病 等
9 循環器系の疾患	高血圧性疾患、虚血性心疾患、その他の心疾患、脳梗塞 等
10 呼吸器系の疾患	喘息、その他の呼吸器系の疾患 等
11 消化器系の疾患	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍、その他の消化器系の疾患 等
12 皮膚及び皮下組織の疾患	皮膚及び皮下組織の感染症、皮膚炎及び湿疹 等
13 筋骨格系及び結合組織の疾患	関節症、炎症性多発性関節障害 等
14 尿路性器系の疾患	腎不全、尿路結石症 等
15 妊娠、分娩及び産じょく	流産、妊娠高血圧症候群 等
16 周産期に発生した病態	その他の周産期に発生した病態
17 先天奇形、変形及び染色体異常	心臓の先天奇形 等
18 症状、徴候及び異常臨床検査所見で他に分類されないもの	症状、徴候及び異常臨床所見・異常、検査所見で他に分類されないもの
19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	骨折、熱傷及び腐食 等